



竹林

白河市立五箇中学校だより No. 2 2

発行 令和2年9月11日
発行責任者 校長 菅野 靖



修学旅行 大成功！

9月8日(火)から10日(木)にかけて、3年生が2泊3日で修学旅行に行ってきました。今年は、新型コロナウイルス感染症の影響で実施そのものが危ぶまれましたが、行き先を関西方面から東北方面へと変更し、感染症対策をしっかりと行って保護者の皆様のご理解とご協力で、実施することができました。



【岩手山を背景に小岩井農場にて】



【わんこそばに挑戦中】

1日目は、狛鼻溪と中尊寺金色堂を巡りました。狛鼻溪は岩手県一関市にある砂鉄川沿いの美しい溪谷です。そこでは昼食をとり、船下りを楽しみました。溪谷に響き渡る船頭さんの唄に、とても感動しました。中尊寺金色堂は岩手県平泉町にあり、奥州藤原氏初代藤原清衡によって建立され、藤原氏4代(清衡、基衡、秀衡、泰衡)が納められています。毛越寺などとともに、2011年に世界遺産に登録されました。堂の内外は緋金箔貼りで、栄華を誇った当時をうかがい知ることができ、これもまた感動しました。2日目は、まず、盛岡手作り村で湯呑み作りを体験しました。完成は1ヶ月後になる予定で、結城祭でお披露目したいと思います。楽しみにしてください。この日の昼食は、わんこそばを体験しました。わんこそばは岩手県の郷土料理で、福島県ではなかなか体験することができないので、貴重な体験になりました。結果は、全員50杯以上を達成し、最高は105杯でした。味もちろんおいしかったです。その後は、小岩井農場へ行きました。小岩井農場は、日本最大の民間総合農場で、明治時代に作られました。名前の由来は、共同創始者である小野、岩崎、井上の3氏の頭文字をとって小岩井となりました。小岩井農場では、暑い中でしたが、ソフトクリームを食べたりアトラクションを体験したりと、青空の下でのびのびと楽しみました。2日目最後は、花巻市にある宮沢賢治記念館を見学しました。宮沢賢治といえば童話作家として有名ですが、農業や科学、音楽などの分野にも興味をもって勉強された多才な人でした。記念館には誰もが知っている「雨ニモマケズ」の詩が書かれた手帳などの資料のほかにもビデオやスライドもあり、宮沢賢治について詳しく知ることができました。最終日は、松島散策から始まりました。国宝瑞巖寺や五大堂、福浦橋などを巡り、観光船で塩釜へ渡りました。日本三景の一つだけあり、とてもすばらしい景色でした。塩釜では、笹かま作りを体験しました。自分で作った笹かまの味は、やはり格別でした。そして最後は、仙台うみの杜水族館を見学しました。多くの魚や生き物たちをテーマ毎に見ることができ、イルカやアシカ、バードのパフォーマンス「STADIUM LIVE」も素晴らしかったです。

予定していた関西方面に行けなかったことは残念でしたが、これまで身近なようで意外と触れることが少なかった東北の文化や良さにふれ知ることができ、また、思い出もたくさんできて大成功だったと思います。修学旅行を終えて一回り成長した3年生の皆さん、今後も新しい目標に向かって頑張っていってほしいと思います。

防災学習に行ってきました



9月8日(火)に、1, 2年生は、アクアマリンふくしまといわき・ら・ら・ミュウにおいて、防災学習に行ってきました。アクアマリンふくしまでは、東日本大震災時の災害の様子や復旧するまでのことについてお話をいただきました。いわき・ら・ら・ミュウでは、震災にまつわる展示品を見学し、避難所についてや災害対策について学びました。白河市に住んでいると、東日本大震災の影響はもうほとんど感じないような日常を送っていますが、まだまだ避難生活を送っている人や帰ることができない場所があることを再確認し、復興や復旧はまだまだ終わっていないことを認識して、同じ福島県民として小さな事でも自分ができることをしていくことは大切なことだと思います。また、アクアマリンふくしまの見学をしたり、潮風を受けながら晴天の下みんなで楽しい時間を過ごしたりもしました。昼食時には海の幸を堪能するなど、それぞれでおいしいものを見つけて食しました。



【いわき・ら・ら・ミュウをバックに】

これまで何度か防災について学習や体験活動をしてきましたが、その都度身につけてきたことを今後役に立てていくことが大切です。いざというときに実践できるように、防災についての話題で家族や友人どうして話しておくとも良いかもしれませんね。